ホームページとイベントで「島」の中心街に活気を

石　垣　市　商　工　会

機関名	石垣市商工会	
所在地	沖縄県石垣市字浜崎町１－１－４	
電話番号	０９８０－８２－２６７２	
地域概要	(1)管内人口　４万３千人 (平成９年調べ)	(2)管内商店街数　９０３商店街 （市町村の商店数）
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数　４　商店街 （内法人格　１商店街）	(2)会員数　２０４　商店
	(3)空店舗率　８．３　％	(4)大型店空き店舗　１　店
商店街の類型	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.~~地域型商店街~~ 4.近隣型商店街	

【事業名と実施年度】

平成 12 年度　活性化対策事業　情報受発信、イベント
総事業費　9,989 千円

【事業実施内容】

１．背景

石垣市の中心市街地活性化への取り組みは、平成 10 年度、石垣市が取り組んだ「石垣市中心市街地活性化基本計画～石垣市中心市街地タウンツーリズム構想～」の策定に端を発している。基本計画には全国でも珍しく『タウンツーリズム』という副題が付けられ、商業だけでなく、港湾や歴史・文化等の地域資源を巧みに組み合わせて、まち全体の総合的な魅力を高めていくことが企画された。

平成 11 年には、石垣市商工会でも、商業タウン・マネジメント構想の策定、ＴＭＯ立ち上げ（株式会社タウン・マネジメント石垣)、空き店舗事業の実施等、関連した取り組みに注力している。現状、少しずつではあるが、その成果も上がってきている。

石垣市中心市街図

こうした好機を生かし、最近の情報技術（ＩＴ）の発達や消費者嗜好の高次化・多様化の進展に対応するため、情報受発信・情報利活用の強化による売上拡大、経営高度化等を通して個店を活性化し、もって中心市街地の活性化に寄与することを目的として、商店街活性化対策事業を実施した。

２．事業内容

（１）委員会及び作業部会の開催

事業を計画的かつ効率的に実施するため、行政及び商工会の役職員や有識者による委員会、及び作業部会を設置し、事業の実施計画・方法等を検討、これに基づいて各種事業を実施する。

（２）情報受発信事業及びイベント事業の実施

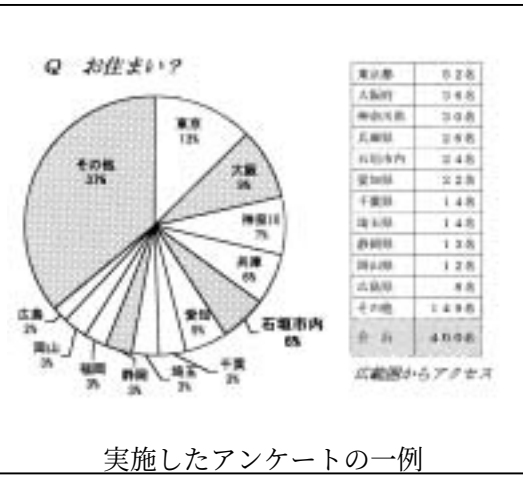
１）ホームページの作成

低廉なコストで広範に情報を受発信出来る手段として、石垣市商工会を開設・運営者としたホームページを立ち上げる。これによって商店街内の中小商業者の店舗・商品・サービス、特産品、イベント等の情報を広域に対して発信する。併せて、閲覧者からの情報を関係者に還元し、以降の事業のため生かしてもらう。

ホームページでの情報提供

２）ホームページ・アンケート

ホームページは立ち上げただけでは効果が希薄である。絶えず閲覧者の意向を還元し､内容の更新に務めることが重要である。こうした点に鑑み、低廉なコストで可能なホームページ上で、ページ内容に関するアンケートを実施する。



実施したアンケートの一例

３）顧客管理システム作成に係る研究会の開催

顧客管理については、これまでそれぞれの個店に合った様々な方法で取り組まれてきた。だが最近では情報技術（ＩＴ）の飛躍的な発達に伴い、技術的な知識を持たずとも使いこなせる、様々なアプリケーションが生まれている。

本事業では、こうしたアプリケーションの内、汎用データ・ベースのデファクト・スタンダードともいうべきマイクロソフト社のアクセスを利用して、それぞれの個店に合ったデータ・ベースの在り方を啓蒙する研究会を開催する。

研究会の様子

４）商店街案内板の設置

観光航路の起点は、中心市街地に隣接した石垣港である。これだけ港湾が近く多くの観光客が利用するものの、道路配置等の問題や情報不足もあり、観光客の中心市街地への還流や個店での買い物等は活発とは言い難い。

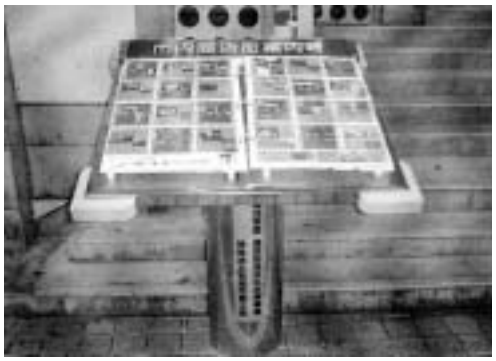
様々な原因が考えられるが、個店や商店街に係る情報が充分に伝えられていないということも主要因と思われる。こうした状況に鑑み、中心市街地内に商店や名所等の情報を紹介する案内板を設置し、観光客等の商店街や個店への回遊を促進する。

５）イベント事業の実施

衰退化している商店街を活気づけるため、商店街離れをしている市民を呼び戻す事を目的に各種イベントを開催する。

（３）報告書の作成

商店街活性化対策事業の結果、並びに成果を取りまとめ今後の商店街活性化事業に活用する。



商店街内に設置された案内板

【　効　果　】

（１）中心市街地に係る情報受発信力の強化

本事業を利用して開設したホームページによって、中心市街地に係る内外への情報発信や、ホームページ閲覧者との間でのコミュニケーション等、地域としての情報受発信力が高まった。観光地である本地域にとって、こうした情報受発信力を持つことは、今後の地域振興を考える上でも極めて有効と思われる。

（２）中心市街地内中小商業者の情報化の推進

本事業で実施した顧客管理システムの構築に係る研究を通して、中小商業者の情報化や計数管理への関心が高まった。中長期的には、経営改善も期待出来る。

（３）中心市街地の賑わい向上

本事業、特に各種イベント事業の実施や商店街案内板の設置に伴って、中心市街地内商店街への来訪者が増大し、街区全体の賑わいが高まった。

【課題・反省点】

（１）提供情報の不断の更新、きめ細やかな受発信力の強化

開設したホームページも、そのまま放置しておくのでは、たちまち陳腐化し閲覧者も激減する。こうしたことにならぬように、不断の更新に務める。

併せて、ホームページ閲覧等を契機とした問い合わせに対して迅速・的確に対応する等、きめ細やかな情報受発信に務めることが望まれる。

（２）中心市街地内中小商業者の経営管理の強化

単なる顧客名簿が出来ただけでは効果は希薄で、しかも一時的なものに留まってしまう。今後は、中小商業者の顧客管理システムの構築に係る研究で高まった情報化や計数管理への関心を類似の研究会の継続的開催等を通して刺激し、本格的な経営改善へと繋げていく。

（３）イベントの継続と内容の改良

イベント事業については、まずは継続し、地域あげてのアイデンティティの核になる水準にまで高めて行くことが望ましい。またその内容についても、参加者・顧客等の意向を随時反映し、不断の更新や魅力強化に務めていくことが望まれる。

【　教　訓　】

事業を展開する際は、買い物だけでなく、来街者が元気をもらえるような商店街づくりに貢献する取組を行うことが大切である。それは、商店街の商店主一人一人の意識の向上とともに、明るい笑顔と誰にでも丁寧な接客をすることからはじめることで、『またこの商店街で買い物したい』という気持ちを来街者に抱かせることになる。

また、高齢者や外出に不自由な方々へのデリバリーサービスは勿論の事、そういう方々を商店街に招待出来るようなサービスも合わせて検討していくことが望ましい。

【関連ＵＲＬ】

石垣市商工会　http://www.i-syokokai.or.jp/
㈱タウン・マネジメント石垣　http://www.tmi.ne.jp
(Ｗｅｂサイト『石垣島０９８０８』)